

令和5年1月27日

福井県議会議長 様

佐藤 正雄

## 訂 正 届（議員）

福井県政務活動費の交付に関する条例施行規程第6条第2項の規定により、令和4年4月28日付けで提出した「令和3年度政務活動費収支報告書」について、下記のとおり訂正します。

## 記

訂正する箇所	訂正前	訂正後
◇政務活動費収支報告書		別添のとおり
2 支出		
広報広聴費	2,332,703 円	2,329,904 円
合 計	3,471,076 円	3,468,277 円
3 残金	128,949 円	131,748 円
◇政務活動費集計表		別添のとおり
◇領収書等添付票		別添のとおり

令和4年4月28日

福井県議会議長様

佐藤正雄

## 政務活動費収支報告書(会派・議員)

福井県政務活動費の交付に関する条例第9条第1項の規定により、下記のとおり2021年度の政務活動費の収支を報告します。

### 記

#### 1 収入

項目	収入額 (円)	備考
政務活動費	3,600,000	
利息収入	25	
自己負担金		
合計	3,600,025	

#### 2 支出

項目	支出額 (円)	備考
調査研究費	31,540	
研修費	12,500	
広聴広報費	R5.1.27 2,329,904 <del>2,332,703</del>	
要請陳情・県民相談等活動費		
会議費		
資料作成費	5,843	
資料購入費	671,049	
事務所費	223,852	
事務費	193,589	
人件費		
合計	R5.1.27 3,468,277 <del>3,471,076</del>	

3 残金 R5.1.27 131,748 128,949円

# 政務活動費集計表(会派議員)

(単位:円)

使途項目	収入 支出	収入、支払科目														収入額	総計	
		旅費	会議費 負担金	食糧費	謝金等 報償費	使用料	委託料	消耗品費	備品費	印刷 製本費	通信 運搬費	燃料・ 光熱水費	修繕料	広告料	人件費			その他
政務活動費	収入																3,600,000	3,600,000
利息収入	収入																25	25
収入合計																	3,600,025	3,600,025
調査研究費	支出	4,540	5,000												22,000		31,540	
研修費	支出		12,500														12,500	
広聴広報費	支出								R5.1.27 1,245,774 1,242,975				1,086,929				R5.1.27 2,332,703 2,329,904	
資料作成費	支出							5,843									5,843	
資料購入費	支出						671,049										671,049	
事務所費	支出					180,000					43,852						223,852	
事務費	支出					93,960		41,250			58,379						193,589	
支出合計		4,540	17,500	0	0	273,960	0	712,299	0	R5.1.27 1,251,617 1,248,818	58,379	43,852	0	1,086,929	0	22,000	R5.1.27 3,471,076 3,468,277	
総合計		4,540	17,500	0	0	273,960	0	712,299	0	R5.1.27 1,251,617 1,248,818	58,379	43,852	0	1,086,929	0	22,000	3,600,025	R5.1.27 128,919 131,748

## 領 収 書 等 添 付 票

整理番号	5-1	支払年月日	令和3年 4月 28日
使 途 項 目	広聴広報費	支 出 科 目	印刷製本費
使 途 内 容	県政活動ニュース作成費用		
費 用 内 容	広報物印刷代	摘 要	431号、432号
政 務 活 動 費 充 当 額 ( 支 払 額 )	R51.27 21,300 23,700円	按 分 率 :	
	( 30,000 円 )	充 当 根 拠 : 実 績 ・ 使 用 状 況 で の 按 分	

領収書その他の収支報告書の内容を証する書類

他の活動に該当する箇所の面積を  
除いた比率で充当。

$$\begin{aligned}
 & 30000 \times \frac{79}{100} = 23700 \\
 R51.27 \quad & 30,000 \times \frac{71}{100} = 21,300
 \end{aligned}$$

### 領収証

No. ....

佐藤 正雄 様

21 年 4 月 28 日

金額	¥ 30,000
----	----------

内  
消費税等

但 広報物印刷代  
上記正に領収いたしました

現金				
小切手				

HISA00#779

福井市二の宮5丁目7-25  
日本共産党福井県委員会  
電話 0776-27-3800 番



## 県主催の原子力発電県民説明会ひらく

参加者から討論案のわかりやすい説明会を、  
など要望意見相次ぐ

福井県主催の原発県民説明会が3月21日、敦賀市で開かれ佐藤正雄県議も参加しました。杉本知事が40年超原発再稼働判断などについて県のすすめ方などを説明。原子力規制庁、資源エネルギー庁、関西電力、内閣府の担当者らが審査内容や事業者の取り組み、エネルギー情勢、事故時の防災計画などについて説明しました。

参加者からは、「新たな安全神話ではないか」「コロナ禍での避難体制が不十分。水戸地裁での避難計画を不備として運転を認めない判決内容



# こんにちは!



日本共産党福井県議会議員

**さとう正雄** です

2021年4月11日 431号  
さとう正雄事務所 0776-26-7400  
自宅 福井市光陽1-18-4 090-4329-1375  
「ブログ さとう正雄」発信中

## 「県自身が県民に説明を」 オール福井反原発連絡会が原発説明会で県に要請

「ども必要ではないでしょうか」と話します。



申し入れる、かねもと（左端）、佐藤（同7人目）両氏ら

佐藤県議も同席しました。

原発反対県民会議の石地優さんと嶺南センターの山本雅彦さん、県連絡会の林広員さんが参加。十分な質疑応答の時間確保や、国や関電の説明だけでなく、県自身が県民へ説明する機会をもうけること、知事との面談などを要望しました。

県主催の原発説明会に先立つ3月18日、オール福井反原発連絡会が原発説明会について、県原子力安全対策課に申し入れをおこない

## 北陸新幹線延伸問題学習会で報告

日本共産党京都府委員会が3月13日に開催した北陸新幹線延伸問題学習会に、佐藤県議はオンラインで参加しました。

膨張する工事費と県の財政負担、並行在来線第三セクター化問題などについて福井からの報告を

おこないました。京都では財政負担問題とともに、大深度地下のトンネル工事に対する不安や批判がつかまっていました。

佐藤県議は「今後はJRから切り離され、第三セクターとなる敦賀までの並行在来線の運賃大幅値上げの危険や利

便性確保 敦賀以西はさらなる無駄な公共事業となるため、県民負担増大の新幹線延伸中止を求めるたたかいたが重要になります」と話します。

## えちぜん鉄道小舟渡駅近くで土砂崩れ 早期復旧と抜本対策を福井土木事務所へ要望

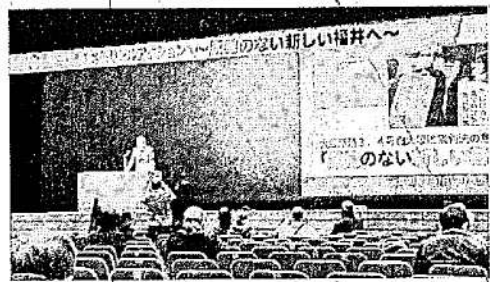
永平寺町の、えちぜん鉄道小舟渡駅近くで土砂崩れが発生した問題で、日本共産党県委員会と同勝山市議団は3月10日、福井市の県福井土木事務所を訪れ、早期復旧と抜本的対策を求めました。山田安信、久保幸治両市議、金元幸枝党県書記長、佐藤県議の4人が、西出俊亮所長、伊戸康浩道路第一課長と面談しました。

2日に発生した土砂崩れで、幅約60m、高さ約40mにおよび斜面が崩れ、付近の県道や線路にたれ込みました。けが人はありませんでした。西出所長は「斜面上部の不安定土塊を除去している」と説明し、えち鉄山王―勝山駅間の運行再開見通しには「4月下旬だが、なんとか早くできないか、やっている」とのべました。県道は仮設の防護柵を設けて片側交互通行ができないうち検討しているとしました。



要望する佐藤県議（左から2人目）ら

党側は、「4月には新学期が始まる。バスだけでは通学が難しい」として早期復旧を求めるとともに、災害を繰り返す現場付近の経過も指摘し、集水工事などの抜本対策や、これまでのパトロールの状況を質問。西出所長らは「職員が2、3日に1回、目視で行っている」「抜本対策の内容についてはボーリングもおこない原因を解明していかないとけないのでやっている」と答えました。



# 「福島原発事故メモリアルコンサート」原発福井県集会

「福島原発事故メモリアルコンサート原発福井県集会」が、3月7日に福井フェニックス・プラザ大ホールで開催されました。

二カ所の会場とオンラインで500名を超える参加・視聴がありました。島田広弁護士の講演や、福島 青森むつ市からの連帯メッセージ、粘り強い市民運動の報告、今回新たに3曲の新曲ふくめ発表された福井のうた「こえ」など多彩な内容でした。

東日本大震災・福島原発事故から10年。この10年間の日々は、多くの国民にとって、原発再稼働反対、原発ゼロを願い、福島原発事故被災地・被災者の救済と補償を願い続けた日々でした。県民のみならず、毎年の集会ははじめ、毎月の市民行進、毎週金曜日の再稼働反対金曜行動など、粘り強い取り組みに心から敬意を表します。

わたしたち日本共産党も、あの2011年3月11日の原発事故をうけ、ただちに福井県への申し入れや、5月には救援物資を現地へ輸送するなどの取り組みからはじめました。多くの住民が避難した後の事故原発から20+も離れた暗い街を思い出します。50+も離れた飯館村の住民の方々の不安と嘆きを忘れることはできません。

その後、福井県では当時の西川知事による福島原発事故後、最初の大阪原発再稼働に県民はもちろん全国各地から福井県への抗議要請行動が広がりました。

2年前の知事選挙で誕生した杉本県政は、スガ政権や関西電力からの働きかけにこたえ

## 第10回さよなら原発福井県集会へのメッセージ

て、40年超の老朽原発の60年運転へすすもうとしています。しかも高浜1、2号機、美浜3号機と3基同時に認めようとしています。

福島原発事故の教訓を忘れていく福井で原発事故の危険がますます高まります。行き場のない使用済み核燃料がますますたまり続け、子々孫々への大きな負担となります。

このようなスガ政権、杉本県政の「毒を食らわば皿まで」という姿勢は第二の福島原発事故への道です。

今年も秋までには衆議院の解散総選挙がおこなわれます。来年夏は参議院選挙です。国政選挙で原発ゼロ基本法制定をかける野党連合政権へ奮闘する政治勢力を大きく伸ばして、原発推進政治を変えましょう。わたしたちも全力でみなさんとともにがんばります。

2021年3月7日  
日本共産党福井県委員会  
書記長 金元幸枝  
県議会議員 佐藤正雄

## こほればなし

### 福井市文化会館、52年の歴史に幕

福井市文化会館が52年の歴史に幕をおろしました。高校時代、丸岡駅から列車で福井駅へ、歩いて文化会館まで、山本安英「夕鶴」公演を一人で観たのが最初でした。一番後ろの席でした。その後、高校時代や公務員時代、現在までたくさんお世話になりました。

3月20日、3月いっぱいで開催する福井市文化会館の閉館イベント「つなぐ」を連れ合いと鑑賞しました。感染対策で入場を半分に制限しての開催でしたが、これまで利用された方々や思い出をもつ市民でいっぱいでした。

舞台勉強中の若い皆さんによる寸劇は、人形劇団「どんと」が出演、演出。

日本舞踊、箏曲、この日のためにつくられたピアノ、バイオリン、琴、混成合唱の「めぐりゆく四季のなかで」。怪妙な司会と、劇団どんと扮する「文化会館君」のやりとりは、演者の皆さんの努力をたたえるメッセージで心温まるものでした。

閉館日の3月31日には5年前の開館時に購入された象牙の鍵盤のスタインウェイピアノでのミニ演奏、パッパのイタリア協奏曲第三楽章などが演

奏され、大ホールに最後のピアノ演奏が響きました。

日本共産党も何度か大ホールを演説会で利用したことがありますし、会議室も以前はよく利用しました。志位委員長迎えた演説会を開催したことも。

現在の党副委員長・市田志義参議院議員がこられて、凄腕舞台だねえ、と声をあげられました。全国まわられている方から見ても有数の舞台だったのでしょうか。

県議会でも指摘しましたが駅前の響きのホールがなくなり、今度は文化会館、研修センター。相次いで市民に親しまれた施設がなくなります。

県立音楽堂やハピリンホールなどでは替えが利かない舞台もあります。新しいものを建てるだけではなく、古いものを大事に残してこそ街の風格となり、ほかにはないものを願ったのではないのでしょうか。文化会館はすぐに解体されないようなので、今からでもなんとかならないものか、と思いますね。



福井市出身の彫刻家 両田光平 作品の前で



# 杉本知事が議長に再稼働議論プッシュ 老朽原発再稼働問題での県議会審議

佐藤県議が畑孝幸議長に緊急要望 (4月6日)

高浜1、2号、美浜3号機の老朽原発再稼働へ、杉本達治知事が4月6日、畑孝幸県議会議長と面談。佐藤県議は、その直前に昼休みに議長室をたずね、畑議長に議会審議について緊急要望をおこないました。畑議長は「すずめ方は各派代表者会議で検討したい」などと答えました。

国は最大50億円の交付金などで老朽原発再稼働を推進しようとしており、知事も議会での再稼働議論を再度要請しました。しかし、福島原発事故の教訓を踏みにじる札束攻勢で県民のほおをたたくようなやり方は、結局、カネで県民の命と安全を取り引きするの、との反発となります。

県政、議会運営への日頃の尽力に感謝申し上げます。さて杉本知事が2月議会で議論を促した老朽・40年超原発の60年運転についての議会議論は持ち越されていますが、本日、杉本知事が議長と面談し、この間の国や県の取り組みについて報告し、再稼働議論を要請するとの報に接しました。

そこで今後の議会審議について以下の要望をいたしますのでよろしくお願いたします。

- 1、日本ではじめての40年超原発再稼働に関する議論であり、県民の前で議論としての十分な議論がなされなければなりません。したがって、基本は6月定例議会での知事提案理由をふまえた議論とすべきです。万が一、その前に議会議論がおこなわれるとしても、本会議や厚生常任委員会など県民にオープンな場での公開性・透明性の高い場での審議を保障してください。

また、請願については請願者の趣意を活かすための会談運営、厚生常任委員会審議が必要で、その際、事の重大性に鑑み、厚生常任委員会で請願者を招致して意見を聴き、質疑をおこなうなどより丁寧な会談運営にとめるよう厚生常任委員長などと協議してください。

その後、県議会厚生常任委員会の田中宏典委員長、小寺惣吉副委員長との意見交換会が開催されました。この



こんにちは!

日本共産党福井県議会議員

さとう正雄 です

2021年4月25日 432号  
さとう正雄事務所 0776-26-7400  
宅 福井市光陽1-18-4 090-4329-1375  
「プログ さとう正雄」発信中

## 40年超老朽原発再稼働反対など 5437筆の署名を県、県議会に提出

県議会厚生常任委員会正副委員長と意見交換

オール福井反原発連絡会などのみなさんが4月13日、差し迫っている40年超老朽原発高浜1、2号機、美浜3号機の再稼働反対などの署名 5437筆を福井県知事と福井県議会議長あてに提出しました。佐藤県議も同席しました。

参加者からは「50億円のお金で県民の安全を売り渡すことばだめ」「県として県民に説明会を開き説明を」「せつそくにすすめないで」「などの声があがりました。



田中厚生常任委員長は「たくさんのお名前をいただいた。県民の皆さんの意見を聴いて判断するのが責務。まず、現地調査や関電、国から話を聞く。皆さんの意見は委員長の責任で伝えていきたい」などと答えました。



オール福井反原発連絡会などの団体が、県議会厚生常任委員会の正副委員長と意見交換

県に避難計画問題などで要請 県議会に請願陳情

福井、関西の住民団体ら



反原発連絡会は県に避難計画問題で県に要請

オール福井反原発連絡会や関西地域で活動している団体などが、4月7日に福井県に避難計画問題などで要請し、県議会に再稼働反対などを請願陳情しました。佐藤県議も同席しました。

「原発は国策であり、説明責任は国にある。県としての説明会を開く予定はない」との回答が繰り返されていいますが、県民は納得できないでしょう。

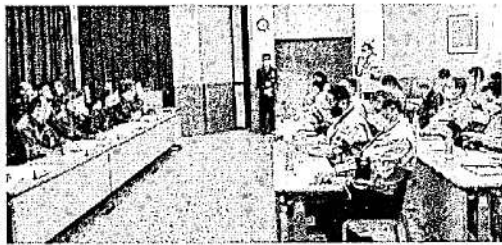
佐藤県議ら高浜原発を視察 感染症対策は大丈夫か

佐藤県議は4月15日、県議会の高浜原発視察調査に参加しました。参加したのは、島田欽一副議長、自民、民主

みらいの各党派議員、細川かをり議員ら。

松村原子力事業本部長、木島発電所所長らから1、2号機の安全性向上対策などについて説明を受け、防潮ゲート、緊急時対策所、デジタル化された中央制御室などを視察しました。

佐藤県議は、コロナ感染前に設計された緊急時対策所に数百人が入ることと感染対策、事故対応を号機ごとに



高浜原発視察で質問に立つ佐藤県議

各議員からも原子炉容器の金属疲労問題、対策費用、テロ対策施設未完成情况のまま再稼働しても数カ月程度しか稼働できない問題、使用済み燃料プールの容量などについて、活発な質疑がおこなわれました。

佐藤県議のコメント

テレワークなど出来ようもない緊急時対策所に200人で密になりかねず、コロナ対応は、持ち込ませない、1点では心もとない。福島のような地震・津波などの災害とともに、感染症対策が今後は重視されなければならない。



こぼればなし

小浜線まで第三センターの危険か!?

赤羽国土交通大臣が県内新幹線工事視察。知事が小浜線は自治体などによる第三セクター経営とならないことを要請したのに対し、赤羽大臣は、県の考えはJRに伝える、と回答した、と。

つまり、政府与党合意でJR経営から分離される並行在来線ではない、と明確に言えなかった。JR西日本次第か。大変なことだ。

もし、JR西日本の意思次第で経営分離なら、嶺南地域自治体や県の負担はさらに巨額となりかねない。

新幹線敦賀以西延伸自体が巨額の県民負担。見直すべきです。

「県の意見JRに伝える」  
 赤羽大臣は、県の考えはJRに伝える、と回答した、と。つまり、政府与党合意でJR経営から分離される並行在来線ではない、と明確に言えなかった。JR西日本次第か。大変なことだ。もし、JR西日本の意思次第で経営分離なら、嶺南地域自治体や県の負担はさらに巨額となりかねない。



4月11日付県民福井より

ハピテラスで老朽原発再稼働反対アピール行動  
 ... 3日間おこなわれる

4月6日から8日まで3日間、老朽原発再稼働反対! 福井駅前ハピテラスでの行動がオール福井反原発連絡会などによって取り组まれました。

主催者から原発問題住民運動県連絡会、原発反対県民会議などからの訴え、科学者会議の山本雅彦さんの講演やうたごえ、アピール 写真展などが行われました。

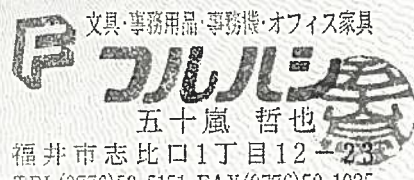
佐藤県議も議会情勢などについて、「たくさんの皆さんの声が県議会に届けられています。議会に届いている請願書陳情書などを無視して結論をだすことは許されません。県議会は県民の声を聞き、審議をすべきです」などと報告しました。



新曲で再稼働反対をアピールするうたごえの皆さん



## 領 収 書 等 添 付 票


整理番号	53-1	支払年月日	令和3年 7月 1日 ✓
使 途 項 目	広聴広報費	支 出 科 目	印刷製本費
使 途 内 容	県政活動ニュース作成用紙代 ✓		
費 用 内 容	広報物印刷代	摘 要	431号~438号 ✓
政 務 活 動 費 充 当 額 ( 支 払 額 )	18,142円	按 分 率:	
	( 19,937円 )	充 当 根 拠:	実績・使用状況での按分 ✓
領収書その他の収支報告書の内容を証する書類			
<p>他の活動に該当する箇所の面積を除いた比率で充当</p> $19,937 \times \frac{91}{100} = 18,142$ $18,142 \times \frac{100}{91} = 19,937$			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> <p>領 収 証</p> <p>佐藤正雄 様</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>No. _____</p> <p>3 年 7 月 / 日</p> </div> </div>			
<p>★ ¥19,937-</p> <p>但 広報物印刷代として</p> <p>上記正に領収いたしました</p>			
内 訳			
税抜金額			
消費税額等( % )			
		 <p>文具・事務用品・事務機・オフィス家具</p> <p>五十嵐 哲也</p> <p>福井市志比口1丁目12-23</p> <p>TEL(0776)53-5151 FAX(0776)50-1035</p>	

※ 県政報告書(写)は整理番号5-1.28-1.46-1.64-1に添付

請 求 書 3 年 6 月 7 日

No. \_\_\_\_\_

佐藤 正雄 様

文具・事務用品・事務機・オフィス家具  
  
 五十嵐 哲也  
 福井市志比口1丁目12-23  
 TEL(0776)53-5151 FAX(0776)50-1035

下記のとおり御請求申し上げます

品 名	数 量	単 価	金額(税抜・税込)			税率(%)	備 考
1 三菱PPC用紙 BA	5ヶ又	3625			18125		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
合計(税抜・税込)	税率	%				消費税率等	
	税率	%				消費税率等	
			消費税額	1812	税込合計金額	¥19937-	